

分類	3-01	教科名	国語	科目名	現代文		
対象学科 (コース)	全学科			学 年	3	単位数	3
指 導 目 標	「国語総合」現代文の学習内容を踏まえ、高校生としての現代文の学力を養成する。						
内 容	近代以降の文章について、読解・鑑賞・読書の方法を習得し、ものの見方・考え方を深め、さらに表現力をも高める。						
内容の取扱い	座学を中心に指導する。表現や理解の基礎となる語句・語彙・文法・漢字の読み書きについて、十分指導する。						
指 導 計 画	学 期	指 導 事 項	指 導 内 容			予定時間	
	1 学 期 4～6 月	サハラ砂漠の茶会	日本画家の語る体験を踏まえて、美と音楽と芸術というものを学ぶ。			3 5	
		名人	小説を楽しく読むことの重要性を学ぶ。				
		詩を味わう	近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の方法を習得させる。 宮沢賢治「永訣の朝」ほか。				
		葉桜と魔笛	太宰治の小説を味わう。				
	2 学 期 7～11 月	山月記	中島敦の名作を熟読玩味する。李徴の孤独に焦点を当てて、虎への変身理由を考察する。			4 2	
		おカネでは買えぬもの	おカネと幸福の関係について学び、抽象的でなじみのない経済学の考え方をわかりやすく考察する。				
		ひよこの眼	登場人物の言動から心の動きを読み取らせ、それぞれの関係性を理解させる。				
		言葉は「ものの名前」ではない	言葉が、時代とどのように関わり影響を与え合っているかを考えさせる。				
	3 学 期 12～2 月	ミロのヴィーナス	優れた評論作品から、想像力というものを学ぶ。文章の論理性にも習熟させる。			2 8	
		こころ	「先生」の姿を通して、人間という存在そのもの、および人間の心の複雑至極を考えさせる。				
		短歌 俳句	情景や心情を把握し、深く味わう鑑賞の仕方を身に付けさせる。				
教科書・副教材他	「展開 現代文 改訂版」 (桐原書店) 「標準漢字演習」 (とうほう)						

評 価 規 準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
講 義	◎	○	○	○	
演 習	○	◎	○	○	
小 テ ス ト	○	○	◎	○	
定 期 考 査	○	○	○	◎	
評 価 の 重 点	読解・鑑賞方法の習得に重点を置く。				